

◆ 平成 30 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定 NPO 法人 水のフォーラム

21A-15

代表者：代表理事 藤原悌子

URL : [http:// w-forum. jp](http://w-forum.jp)

1. 活動が必要とされた状況

ここ最近、水災害が激化していますが、埼玉県の川が農業用水系も絡んで非常に複雑なため、県民の多くがそれら大地を往く水みちについてよく理解できていません。

そこで県土の 7 割に関わる荒川を軸に、大地の水みちとその流域の歴史・文化を紹介しています。シリーズ「荒川を下りながら」第 5 弾は、荒川最下流の派川・隅田川(現新河岸川下流部)と、都内を流れて隅田川に合流する石神井川・神田川を紹介します。これらの河川は東京と後背地埼玉のさまざまなつながりの中で、欠かせない河川と考えました。

2. 活動の内容(実施時期、参加人数、活動内容など)

<実施時期> 平成 30 年度前半～資料収集。 後半に原稿作成等まとめ。

<参加人数> 筆者、校正人員として数名。

<活動内容> 特集記事：

荒川水系の隅田川と、そこに合流する石神井川、神田川を紹介。

実践活動報告：

①18 年目になる里地里山の保全活動。直近 10 年の記憶を写真で紹介。

②6 年目になる「上下流交流会」、今年度は利根川中流部にある利根大堰を中心に都市用水路・農業用水路を見学。その報告及び資料を掲載。



『水のFORUM』Vol. 18 より

3. 活動の成果

機関誌『水の FORUM』は国会図書館や都中央図書館(旧日比谷図書館)にコーナーが設けられ、各号収蔵されています。NPO の発行物でこのような扱いは珍しいそうです。

これら図書館等で読まれ、既刊誌の問い合わせ、新規入会がありますし、見沼田んぼでの里地里山保全活動や上下流交流活動において、これら機関誌が活動理念を考える上で役立っています。

昨年末、さいたま市民サポートセンターで活動報告展をしましたが、そこに展示した『水の FORUM』への関心は高く、会社帰りの方々が座り込んで読んでおられたそうです。そういった方々から、水のフォーラムの今後の案内を希望されました。

4. 今後に残された課題

残る 19～20 号、そして合冊本まで後 3 年、何とか目的を達成したいと考えています。